

令和5年度新座市幼保小連携推進事業

交流実践報告集

つなげよう 家庭の力を学校へ

テーマ「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

重点目標 ①交流活動の見直しと更なる改善

(体験やふれあい、交流回数等の検討)

②互いの教育活動への理解を深めあう(相互訪問、職員交流)

③指導要録の活用、引継ぎの充実(小学校への引継ぎの仕方)

④「保護者への啓発」(リーフレットの活用等)



新座市教育委員会



あいさつ

新座市教育委員会教育長

金子 廣 志

現在、文部科学省では、学びや生活の基盤を支える幼児期からの教育の充実を図り、施設類型や地域、家庭の環境を問わず、全ての子供に対して、格差なく質の高い学びを保障する「幼児教育スタートプラン」を推し進めています。その中では、幼保小の接続期の教育の質の向上に向け、全ての子供たちの多様性にも配慮した上で学びや生活の基盤を育む「幼保小の架け橋プログラム」についても、モデル地域における検証等を通じた開発・改善が行われております。

このような中、各園、各学校におかれましては、連携の重要性を理解し、リーフレットの活用、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの作成・共有等を進めていただき、幼保小の連携をさらに充実させていただいていることに感謝申し上げます。

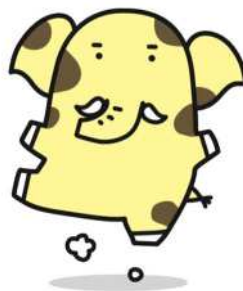
今年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類へ移行され、各校では対面での活動が再開されました。顔と顔を合わせた子供たち同士の触れ合いが、知的好奇心を掻き立たせ、主体的・対話的で深い学びにつながっていることを感じる事ができました。

「幼保小架け橋プログラム」が目指す方向性として、架け橋期のカリキュラムについては、幼保小が協働し、共通の視点をもって教育課程や指導計画等を具現化していくということが示されております。本市が行っている市内の幼稚園・保育園・小学校の連携を、一層確かなものとし、協働して保育・教育をすることが、今後、より一層重要になると考えます。

最後になりましたが、本冊子の作成にあたり、各幼稚園長、各保育園長、各小学校長をはじめ多くの関係者の皆様に御協力いただきましたことに、心より深く感謝申し上げます、あいさつといたします。

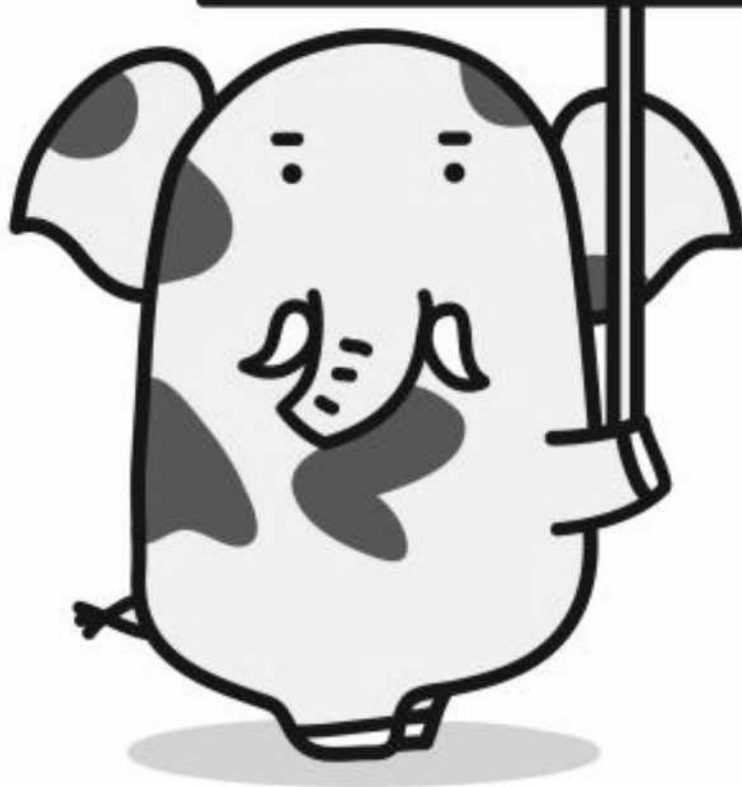
目 次

1	新座市教育委員会教育長あいさつ	・・・	1
2	令和5年度新座市幼保小連携推進事業 年間活動概要	・・・	3
3	令和5年度新座市幼保小連携推進事業 成果と課題	・・・	6
4	新座市幼保小連携推進協議会開催要綱	・・・	8
5	令和5年度新座市幼保小連携推進協議会役員名簿	・・・	10
6	令和5年度交流研修会（ブロック別研修会） ＜小学校、幼稚園、保育園の組み合わせ＞	・・・	11
7	令和5年度新座市幼保小連携推進事業 交流実践報告 （各ブロックからの令和5年度新座市幼保小連携推進事業報告書）	・・・	12



年間活動概要

つなげよう 家庭の力を 学校へ



令和5年度の推進事業計画

テーマ 「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

重点目標

- ①「交流活動の見直しと更なる改善」(体験やふれあい、交流回数等の検討)
- ②「互いの教育活動への理解を深めあう」(相互訪問、職員交流)
- ③「指導要録等の活用、引継ぎの充実」(小学校への引継ぎの仕方)
- ④「保護者への啓発」(リーフレットの活用等)

交流実施期間 令和5年7月～令和6年1月

令和5年度 年間計画

<p><役員会> 令和5年6月23日(金) 午後3時30分～ 参集会議</p> <p><全体会> 令和5年6月30日(金) 午後3時30分～ Google meetを活用した オンライン会議</p>	<p>新座市幼保小連携推進協議会役員会 新役員の選出、昨年度のふりかえり、 本年度のテーマ、年間計画の作成</p> <hr/> <p>新座市幼保小連携推進協議会 第1回全体会 参加者:保育園長・幼稚園長・小学校長 (関係職員各園1名・各学校2名)</p> <p>(1) 役員紹介 (2) 今年度の研修テーマ (3) 研修内容 ・ブロック別交流計画 ・情報交換など</p>
<p>令和5年7月 ～令和6年1月</p>	<p>幼保小の連携にかかるブロック別交流研修会 ※1月までに終了し、2月事業報告書提出。 第2回全体会でブロックの成果と課題を協議する。</p>
<p>令和6年2月13日 午後3時30分～ 会場:オンライン会議</p>	<p>新座市幼保小連携推進協議会 第2回全体会 参加者:保育園長・幼稚園長・小学校長 (関係職員各園1名・各学校2名)</p> <p>(1) 実践報告 ※別紙参照 (2) 今年度の成果と課題 (3) 情報交換など</p>

【学校公開日】

*小学校(運動会)

令和5年10月28日(土)

別紙

新座市幼保小連携推進協議会第2回全体会での実践報告会について(案)

令和5年6月30日

1 報告者 各小学校ブロック代表者

2 報告者割当表(R5～3か4ブロック毎)

ブロック名	H30年 度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
大和田小学校			※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため 実施なし	※実施なし	※新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの同 時流行を懸念し書面開催のため実施なし	○					
西堀小学校						○					
片山小学校						○					
第四小学校									○		
八石小学校									○		
東北小学校									○		
野火止小学校	○									○	
野寺小学校	○									○	
池田小学校	○									○	
新堀小学校	○										○
東野小学校	○										○
栄小学校	○										○
石神小学校		○									○
新開小学校		○									
栗原小学校		○									
陣屋小学校		○									
新座小学校		○									

3 報告内容

(1) 今年度における取組(各ブロック5～10分 質疑応答含む)

- ・重点目標の何に力を入れて取り組み、どのような成果があったか。
- ・他のブロックに紹介したい取組
- ・今年度の課題となっていること
- ・指導要録、保育要録の活用と引継ぎ内容等

(2) 発表資料は、各ブロックで用意する。

※実践報告会で提示する発表資料は、事務局に1週間前までにご提出ください。

4 その他

「新座市幼保小連携推進協議会第1回全体会」で打ち合せを行う。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業 成果と課題

【令和5年度 研修テーマ】

テーマ

「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

重点目標

- ①「交流活動の見直しと更なる改善」（体験やふれあい、交流回数等の検討）
- ②「互いの教育活動への理解を深めあう」（相互訪問、職員交流）
- ③「指導要録の活用、引継ぎの充実」（小学校への引継ぎの仕方）
- ④「保護者への啓発」（リーフレットの活用等）

1 実践内容（丸数字は重点目標）

①交流活動の見直しと更なる改善（体験やふれあい、交流回数）について

- ・幼保小交流会（1年生体験、校内見学、授業体験、おもちゃフェスティバル など）
- ・動画による交流（小学校の紹介 など）
- ・手作りのプレゼント（メダルなど）

②互いの教育活動への理解を深めあう（相互訪問、職員交流）について

- ・学年だより、園だよりの共有
- ・幼稚園、保育園見学
- ・情報交換会（交流方法の検討会、園児・児童の実態の共有 など）

③「指導要録の活用、引継ぎの充実」（小学校への引継ぎの仕方）

- ・アプローチプログラム、スタートカリキュラムの作成・活用と情報共有
- ・情報交換会等における引継ぎの充実（園児の実態・課題の共有 など）

④「保護者への啓発」

- ・入学準備説明会の充実
- ・「3つのめばえ」「5歳児保護者向けリーフレット」等の配布と活用

2 成果と課題

<小学校>

○成果

- ・園児とかかわることで、2年生になるという自覚や園児を思いやる気持ち、責任感を持って行動する大切さに気付かせることができた。
- ・「スタートカリキュラム」を渡すことができ、意識の共有が図ることができた。
- ・職員間で連絡をとることにより、異校種の職員の交流にもつながった。
- ・生活科の学習をめあてをもって意欲的に取り組ませることができた。

●課題

- ・交流時期とインフルエンザ等の感染症が流行する時期が重なってしまうこと。
- ・異校種間の理解をより深める必要がある。
- ・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムについて、幼保小の連携について、教員・保育士がお互いに園児・児童の活動の様子を参観し、連携に必要なことを確認するための時間の確保。
- ・交流回数、交流場所、見学箇所等についての計画性

<幼稚園・保育園>

○成 果

- ・特別教室やトイレなど、小学校に入ることでの雰囲気を実感することができ、不安から安心へとつながった。
- ・タブレットやランドセルの体験で、小学校への期待が大きくなった。
- ・オンラインではなく、実際に交流することができ小学校への期待を持つことができた。
- ・1年生の対応や座って話を聞く姿勢などを目の当たりにしたことで、園児たちの1年生になるという自覚につげることができた。

●課 題

- ・交流時期とインフルエンザ等の感染症が流行する時期が重なってしまうこと。
- ・見学したい場所が見学できなかった。（図書室、校庭等）
- ・通常の授業等の見学ができる機会があるとよい。
- ・交流会の回数、交流時の活動時間、質問時間等、時間を長く設定して欲しい。

【来年度に向けて】

◆年間を見通した計画的な交流活動の実施

- ・意図的に設定した内容による複数回の交流
- ・児童数、園児数等、実態に応じた交流の仕方の工夫
- ・小学校教育課程全体においての、計画的な交流の実施（教科、学年の検討）

◆共通理解・共通行動

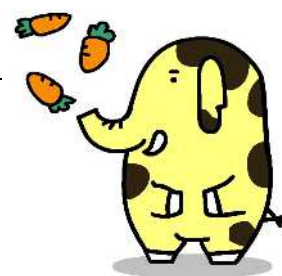
- ・スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの共有と活用
- ・小学校、園の施設や生活の様子の見学
- ・学校だより、園だより等の共有と活用

◆引き継ぎの充実

- ・入学のしおりを園に送る。
- ・計画的な情報交換会の実施

◆その他

- ・保護者への啓発（リーフレットの活用、情報提供等）
- ・教職員間交流の充実



新座市幼保小連携推進協議会開催要綱

(平成17年8月2日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 子どもたちの健やかな成長を目指して、幼稚園、保育園、小学校及び教育委員会が協力し、相互交流を通して理解を深め、幼児教育と児童教育の緊密な連携を図るため、意見又は助言を求める新座市幼保小連携推進協議会（以下「協議会」という。）を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 協議会において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

(1) 小学校、幼稚園及び保育園間の交流・連携に関すること。

(2) 小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士間の交流・連携に関すること。

(3) 小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士の資質向上を図る研修会の実施に関すること。

(4) 就学前の保護者向け資料等の作成及び提供に関すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の運営に必要な事項に関すること。

(参加者)

第3条 教育長は、別表に定める者のうちから、協議会への参加を求めるものとする。

2 前項の場合において、教育長は、原則として、同一の者に継続して協議会への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 協議会の参加者の中から互選により会議を進行するための座長を定めるものとする。

2 教育長は、必要があると認めるときは、協議会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料を求めることができる。

(開催期間)

第5条 協議会の開催期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、学校教育部教育支援課において処理する。

(施行の細目)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成17年8月2日から実施する。

附 則

この要綱は、平成19年4月19日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月30日から実施する。

附 則

この要綱は、平成23年5月18日から実施する。

附 則

この要綱は、平成25年5月7日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表

新座市幼保小連携推進協議会参加者

1	公立小学校 校長
2	私立幼稚園 園長
3	公立及び法人等保育園 園長
4	こども未来部保育課長
5	学校教育部長

令和5年度 新座市幼保小連携推進協議会役員名簿

	学校名	役 職	名 前
	新座小学校	校 長	浜田 祐加
	十文字女子大附属幼稚園	園 長	伊集院 理子
	大和田しらかば幼稚園	園 長	藤巻 和司
	かたやま幼稚園	園 長	中野 明子
	第一新座幼稚園	園 長	竹内 勘次
	西堀保育園	園 長	金子 直子
	かりやなかよし保育園	園 長	阿部 智恵子
	こども未来部	保育課長	清水 達也
	教育委員会学校教育部	部 長	杉原 浩二

事務局	教育委員会学校教育部	参事兼教育支援課長	山崎 孝雄
	教育委員会学校教育部	教育支援課副課長	石井 弥和子
	教育委員会学校教育部	教育支援課指導主事	宇賀田 恵亮

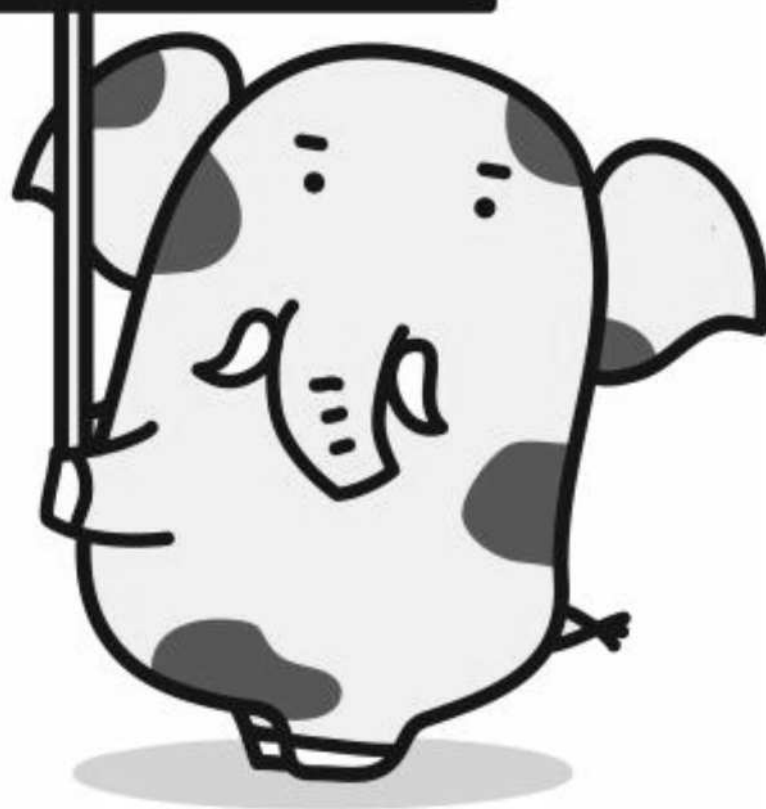
令和5年度交流ブロック

＜小学校、幼稚園、保育園の組み合わせ＞

ブロック番号	学校名	幼稚園	保育園
1	大和田小学校	なみきの幼稚園	ふえありーている保育園 みどりの丘の保育園 音羽の森保育園
2	西堀小学校		西堀保育園
3	片山小学校	美鈴幼稚園	みき保育園 かりやなかよし保育園
4	第四小学校		まきば第二保育園 妙音沢もみじ保育園 新座どろんこ保育園
5	八石小学校	片山幼稚園	横田保育園
6	東北小学校	かきの木幼稚園	北野の森保育園
7	野火止小学校	十文字女子大附属幼稚園	すこやか保育園 野火止保育園
8	野寺小学校	片山幼稚園	第二保育園 栗原保育園
9	池田小学校		栄保育園 元気キッズ新座池田園
10	新堀小学校	こぼとの森幼稚園	光保育園 新堀保育園
11	東野小学校	わか のび幼稚園	第一保育園 すぎのこ保育園 まなびぐら新座保育園
12	栄小学校		竹の子保育園 妙音沢もみじ保育園
13	石神小学校		まきば保育園 アヤ保育園 光第二保育園 まこと保育園
14	新開小学校	第一新座幼稚園 大和田しらかば幼稚園	北野保育園
15	栗原小学校	明彩幼稚園	けやきの森保育園栗原園 けやきの森保育園栗原第二 はなにこマロン保育園
16	陣屋小学校		白梅保育園、 白梅第二保育園 キッド・ｽﾀｲﾙ新座保育園
17	新座小学校	第二新座幼稚園	新座保育園 山びこ保育園

令和5年度幼保小連推進事業

交流実践報告



<第1ブロック>

新座市立大和田小学校

なみきの幼稚園

みどりの丘の保育園

ふえありーている保育園

音羽の森新座保育園

1 活動名

- (1) 相互訪問、職員交流
- (2) なかよし集会
- (3) 学校紹介動画
- (4) 保護者への啓発

2 活動内容

(1) 相互訪問、職員交流

- ・学年だより、園だよりの共有

月に一度、おたよりを渡し、情報を共有した。

- ・保育見学 日時 8月21日(月)

朝の会、予定している遠足の流れの確認(電車での過ごし方、乗り降りの確認)各クラスの掲示物、水遊びの準備の様子、自由遊びの様子、英会話の活動、卒園生のお手紙を読んで感想を伝え合う活動を見学させていただいた。

各園と卒園した児童やこれから入学する予定の児童の情報共有をした。

(2) なかよし集会

- ・日時 12月12日(火) 10:35~11:45
- ・場所 大和田小学校 体育館 1学年各教室 東校舎
- ・交流内容

① 始めの会

1年生が司会を務めて会の説明をした後、1月の音楽発表会で歌う「まねっこまねまねくじらぐも」を発表し、歓迎した。その後1年生と園児でペアを作り、挨拶や自己紹介をして手をつなぎながら移動した。

② 学校探検

ペアで手をつないで階段を上って校内の特別教室(音楽室、図書室)などを回り、学校探検をした。

③ 各教室で交流

1年生の教室で席に座り、話の聞き方、鉛筆の持ち方を学んだり、なぞりプリントで実際になぞったりして学習体験をした。学習体験後、ランドセルや校帽を身に付けたりして、小学生気分を味わった。余った時間で、学校の行事や給食の話など学校のことについて教え、交流をした。(混雑を緩和する為、②③はクラスによって順番を逆にした。)

④ お見送り

トイレの場所を教え連れて行き、終わったら並んで待つことを教えた。各教室でお別れの挨拶をし、靴置き場まで手をつないで園児を見送った。



(3) 学校紹介動画

コロナ禍の令和3年度に作成した学校紹介動画を園に渡し、学校の様子をさらに詳しく伝えた。

(4) 保護者への啓発

入学のしおりを送り、入学準備について園と共有し、活用していただく。



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・1年担任が幼稚園・保育園へ直接おたよりを渡し、園児の様子やなかよし集会ではどんな活動を希望しているか事前に確認をすることができた。卒園した児童がおたよりを渡しに行く園もあり、児童から学校の様子を伝えることもできた。
- ・なかよし集会で、1年生は年下の子と接することで、来年度上級生になるという自覚が高まる良い機会となった。時間が余ってしまった時に、「好きな食べ物は何か？」など園児が答えやすい交流をすることができた。生活科の学習で事前指導したことを活かした。

○課題

- ・12月半ばでインフルエンザが流行したことが課題であるが、2学期の学校行事を考えるとこの時期が妥当ではないか。インフルエンザで訪問できなかった園児も多くいたため、学校紹介動画を見てもらうことにした。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・特別教室やトイレに実際に入れたことで、一層その場所の雰囲気を感ずることができた。
- ・ランドセルを背負わせてもらい、小学生気分を味わうことができ、楽しく活動できた。
- ・教室での交流では、授業の雰囲気を感ずることができ、1年生が個別に声をかけてくれた為、就学に向けて不安に思う子も期待をもって前向きになった。
- ・案内図や靴の着脱場所を各園で分かりやすく示してあってスムーズに体育館まで行くことができた。

○課題

- ・インフルエンザの時期と重なってしまったので、10～11月に行ってもよいのではないか。
- ・時間の都合上難しいが、図書室の中に入って様子を見てみたい。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第2ブロック>

新座市立西堀小学校 西堀保育園

1 活動名

- (1) 西堀小ブロック幼・保・小連絡会
- (2) 交流会（学校見学）
- (3) 園児の授業体験（予定）

2 活動内容

- (1) 西堀小ブロック幼・保・小連絡会

○交流会の内容検討

- ・交流会で行う活動内容について検討した。
- ・園児や児童の実態について情報交換をした。

○次年度以降の計画立案

- ・1年間の活動内容を振り返り、次年度以降に引き継ぐべきことを検討した。
- ・年間指導計画をすり合わせ、次年度以降の活動時期や活動内容を検討した。

- (2) 交流会（学校見学）

○西堀小学校でなかよし会の実施

- ・西堀保育園6歳クラスの園児を招いてなかよし会を実施した。

① はじめの会・終わりの会（体育館）

はじめの会と終わりの会では、児童が司会を務めた。園児が聞き取りやすい話し方を練習し、円滑に進行をすることができた。

② 園児や1年生による発表（体育館）

お互いに、保育園や小学校の行事で取り組んだ表現を発表した。園児と児童を対面で座らせることで、お互いの発表をしっかりと見ることができた。

③ じゃんけん列車（体育館）

みんなでじゃんけん列車をして、楽しんだ。お互いに少し緊張感が和らいだ。

④ 学校探検（校内）

グループに分かれて、校内を探検した。1年生は、園児たちを誘導して校内をまわるため、いつも以上に強い使命感と責任感をもって、学校探検に臨んでいた。

(3) 園児の授業体験（予定）

○西堀小学校で授業体験の実施予定

- ・西堀保育園 6 歳クラスの園児を招いて、1 年生の教室で授業体験する。
- ・園児がランドセルを背負って歩く体験を行う。

3 交流の成果と課題

○成果

保育園

- ・西堀小学校との交流を行い、園児の小学校への期待と意識を高められたこと。
- ・校内を案内してもらったり、小学生の発表等の姿を見たりして、小学校のイメージを持たせられたこと。
- ・小学校一学年の先生と年長児担任とでコミュニケーションをとりながら、子どもたちについて情報交換できたこと。
- ・日時設定は、互いに忙しく時間をつくるのが困難だったが、連絡を取り合い、交流が実施できたこと。（子どもにとっても、無理のない範囲で楽しんで交流の機会を持つことができたように感じる。）

小学校

- ・園児とかかわることで、2 年生への意識づけになるとともに、責任感を持って行動する大切さに気付かせたこと。

○課題

- ・保育園の生活の様子や活動を、小学校の先生が来園し、実際に見る機会をもてると、より密に連携できるのではないか。



<第3ブロック>

新座市立片山小学校

かりやなかよし保育園

みき保育園

美鈴幼稚園

1 活動名

- (1) 幼保小交流会
- (2) 園児へのメッセージ動画

2 活動内容

- (1) 幼保小交流会

日時：令和5年11月 9日（木）10時30分～11時30分

美鈴幼稚園（90名）

令和5年11月24日（金）10時30分～12時30分

かりやなかよし、みき保育園（21名）

場所：片山小学校1年生の教室、校内など

内容：

① 授業の体験（国語・算数）

教室で実際の机や椅子に座って授業の内容を体験してもらった。国語の体験では、教科書の音読を聞かせたり、一緒にしりとりを楽しんだりした。そのあと簡単ななぞり書きの体験をした。算数の体験では、1年生が描いた絵の数（1～5）を一緒に数えた。



1年生は園児に学校での学習の仕方を優しく教えてあげたり、園児の様子に合わせて声掛けをしたり、温かい雰囲気の中で授業の体験を行った。

② ランドセル体験

国語、算数などの教科書や筆箱などの学習用具を入れた状態でランドセルを背負ってもらった。1年生は背負わせる手伝いをしたり、一緒に教室の中を歩いたりしていた。



③ タブレット体験

実際にタブレットに触れて動かしてみる活動をした。ロイロノートを使って、ペアの児童が教えながらお絵描きを行った。

④ メダルの作成、プレゼント

片山小学校キャラクター「かたち」に色を塗り、裏面にメッセージを書き、一人一人に交流の最後にごんぱったプレゼントとして渡した。1年生の児童は、来年度、下の学年が来ることを理解し、自身の成長を感じることもできた。



⑤ 給食体験



保育園との交流の日には、給食を食べてもらう体験も実施した。準備や配膳、片付けなどは1年生が行った。校外学習のために空いていた3年生の教室を借りて、園児たちには実際に給食を食べる体験をしてもらった。

(3) 園児へのメッセージ動画

3学期に、各園の児童へのメッセージ動画の作成を予定している。

3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・園児と関わる中で、色々とお世話してあげようという意識が芽生え、4月から自分が2年生になるという気持ちが高まった。活動の中で、実際に園児に優しくしよう、しっかりしようとしていた。
- ・今回の活動を通して、児童も教師も入学からの成長を感じることができた。

○課題

- ・保育園や幼稚園との、小学校生活に関する質問を受ける時間を設けると、より園児の不安解消につながったと思う。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・給食体験ができ、子どもも保護者も喜んでいて、タブレットやランドセルの体験で、小学校への期待が大きくなった。
- ・体験時間も丁度良かった。

○課題

- ・他にも校庭や校内の他の場所の見学もしてみたい。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第4ブロック>

新座市立第四小学校

妙音沢もみじ保育園 まきば第二保育園、新座どろんこ保育園

1 活動名

- (1) 第四小ブロック教職員情報交換会
- (2) 幼保小交流活動

2 活動内容

- (1) 第四小ブロック教職員情報交換会

- ① 日 時 令和5年7月24日(月) 14:00～15:00
- ② 開催方法 第四小学校 1年1組にて対面で開催
- ③ 内 容
 - (1) 園児・児童の実態、課題の共有
 - (2) 指導方法の共有
 - (3) 3学期の交流会について
など

- (2) 幼保小交流活動

- ① 日 時 令和6年1月22日(月) 9:30～11:00
- ② 開催場所 新座市立第四小学校
- ③ 内 容 1年生と年長児との交流

○校内めぐり

1年生が教室の説明をしながら、
特別教室を中心に校内を歩いてまわった。

○学校クイズ

1年生が事前に準備をした、
学校での学習や生活についてのクイズを出し、
学校のことを説明した。

○まつぼっくりけん玉遊び

生活科の学習で作成したまつぼっくりけん玉で、
遊び方を教えてあげるなどして交流した。

○つくえのひみつ

1年生が机の中のものを紹介したり、
国語の教科書の読み聞かせを行ったりした。



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

① 成果

- ・1年生との交流活動では、交流から生まれた気づきが多くあり、自信につながった。また、保育園児の入学を期待する気持ちも生まれ、自分の成長を感じていた。
- ・前年度の課題であった「スタートカリキュラム」を渡すことができ、意識の共有が図れた。

② 課題

- ・3園と小学校の予定を合わせるのが難しかった。
- ・時期的には、インフルエンザの流行と重なり、心配なこともあった。

(2) 保育園

① 成果

- ・学校やクラスでどのような事をするのか等がよくわかり1年生になることに対する期待が高まった。
- ・卒園児との交流ができ、園児が嬉しそうであったのと、卒園児の様子がよくわかり良かった。
- ・4月からの新生活に向けて、学校という施設を子供たちの目で実際に見ることは、とても良い経験になった。

② 課題

- ・2回という限られた時間の中では、できる事が限られてくるので、もう少し交流会自体を増やしてもよいのではないか。
- ・夏の情報交換会で保育者側からの意見をもっと伝えたほうが良い。



〈第5ブロック〉新座市立八石小学校 片山幼稚園 横田保育園

1 活動名

- (1) 来年度入学児童（長子）の保護者授業参観
- (2) 小学生と園児の交流会
- (3) 八石市への招待
- (4) 小学校教員による園への訪問・見学
- (5) 園児の学校見学

2 活動内容

- (1) 来年度入学児童（長子）の保護者授業参観（会場 八石小学校1年生教室）

○11月7日 1組国語 2組算数
10日 1組算数 2組国語



- (2) 小学生と園児の交流会（会場 八石小学校体育館）

○11月20日 片山幼稚園との交流会、21日 横田保育園との交流会

① はじめの会

② 小学生によるワークショップ

机・お道具箱体験コーナー、ひらがな練習コーナー、肋木コーナー、ランドセルコーナー、八石体操コーナー

③ おわりの会



はじめとおわりの会では、児童が司会を担当。



児童が先導。5つのワークショップを回った。

(3) 八石市への招待 (会場 八石小学校)

○11月24日

児童たちが考えたグループごとの
遊びを、園児が体験



(4) 小学校教員による園への訪問・見学 (会場 片山幼稚園、横田保育園)

○1月31日と2月1日の2日間にわたり、小学校教員4名が幼稚園、保育園を訪問

- ①園児との交流
- ②活動の見学

(5) 園児の学校見学 (会場 八石小学校)

○1月29日 片山幼稚園

30日 横田保育園

- ① はじめの会
- ② 校舎見学 (それぞれの場所で小学生による説明つき)
靴箱、1年生の教室、給食室、トイレ、保健室、職員室、図書室、
図工室、英会話ルーム、音楽室
- ③ おわりの会



上学年の授業の様子を間近で参観。



児童が授業の内容や、各教室の様子を紹介。

3 成果と課題

○何度も交流を重ねたことで、園児が楽しみで前向きな気持ちを持って参加できた。

○児童が主体の動きを見て、園児の1年生への憧れのまなざしが増した。

△事前にお知らせしたプリントのグループ編成の表が分かりづらかった。

・片山幼稚園と横田保育園と同じ日に交流をしても良いのではないかと。

(八石小入学児同士の混合グループを作る等)

第6ブロック 新座市立東北小学校
かきの木幼稚園
北野の森保育園

1 活動名 幼保小交流会

2 活動内容

(1) 幼稚園・保育園見学

日 時： 7月 北野の森保育園

10月 かきの木幼稚園（校内行事と重なり訪問中止）

内 容：小学校教員が幼稚園・保育園を訪問し、園児の活動や園の施設を見学する。

(2) 幼保小交流会

日 時：12月14日（木）

→インフルエンザ感染拡大のため1月10日（水）に延期

場 所：東北小学校1年の教室、校内

交流学年：東北小学校1年生（131名）

かきの木幼稚園（40名）

北野の森保育園（20名）

内 容：①全体会（顔合わせ・先生の話）

②1年生と園児の交流（各教室）

（ランドセル体験、鉛筆の持ち方、線をかく練習）

③1年生による学校紹介



3 活動の成果と課題

(1) 小学校

○成果

・幼保小交流会では、園児と関わることで、お兄さんお姉さんとして

の自覚をもって活動することができた。

- ・「園児が安心して入学するために、なにができるか」という視点で、各クラスでの準備を意欲的に頑張っていた。

●課題

- ・交流会当日は、各クラスでの交流を中心に行った。交流会の日程が2日間確保できると、余裕をもって校内案内などができる。



(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・インフルエンザの感染拡大により、一度は交流会が中止となったが、別日に行うことができてよかった。
- ・教科書に興味を示し、その日の自由遊びの時に教科書を自主的に読んでいた。1年生に音読してもらった物語を見つけると嬉しそうに教えてくれた。
- ・椅子の座り方が崩れていると、声掛けをするだけですぐに意識するようになった。
- ・頼りになるお兄さん・お姉さんと関わることで、小学校に対する期待が持てたようだ。
- ・子供たちはとても緊張していたが、園に戻るとどの子も「楽しかった！」と満面の笑みで話していた。
- ・ランドセルを背負ったり、書く体験をしたりできたことが嬉しかったようだ。

●課題

- ・学校案内があると良い。
- ・園児も参加できる時間がもっとあると良い。
- ・もっと質問の時間があると良い。
- ・今一度の交流ではなく、気軽に交流できる場を作ると、小学校への不安感を解消できる。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

〈第7ブロック〉

新座市立野火止小学校

十文字女子大附属幼稚園

すこやか保育園

野火止保育園

1 活動名

- (1) 幼保小交流会
- (2) 野火止小ブロック 幼保小連絡会
- (3) 野火止小ブロック 幼・保訪問

2 活動内容

- (1) 1年生が園児を誘導して活動する幼保小交流会

①はじめの会

- ・1年生が司会を務め、「はじめの言葉」「交流会の流れの説明」「ペア作り」を行った。

②教室体験

○ランドセル体験

- ・1年生のランドセルを園児が背負い、ランドセルの重さを体験した。

○名前書き体験

- ・教室の席で園児が自分の名前を書く体験をし、1年生が補助した。

③交流遊び

- 生活科「あきをたのしもう」で1年生が作った秋のおもちゃを使い、園児と一緒に遊ぶことを楽しんだ。

④終わりの会

- ・1年生が司会を務め、「園児の感想」「終わりの言葉」を発表した。

- (2) 幼保小情報交換

- (3) 小学校の生活についての掲示物作成

- ・小学校の生活について写真や文字で掲示物を作成し、園へ訪問した。



作成した掲示物

3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・1年生の児童は、事前の準備や当日の交流、事後の振り返り活動に、園児を思いやる気持ちをもって取り組み、上級生としての自覚をもった活動をする事ができた。
- ・生活科「たのしいあきいっぱい」「もうすぐ2ねんせい」の学習において、めあてをもって意欲的に取り組むことができた。
- ・異年齢の子供同士の間関係が深まった。
- ・園児は、小学生との活動を楽しみ、小学校生活に対する期待が高まっている様子が見られた。

○課題

- ・子供の交流だけでなく、教職員間の交流（研修）の機会をできる限りもてるようにし、園での指導や園児の様子、小学校での指導や児童の様子等をお互いに知ることにより、異校種間の理解をより深め、園児の小学校入学をスムーズなものにしていきたい。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・活動内容が多く、園児は小学生との交流を楽しんでいた。
- ・1年生は、上級生としての意識をもって園児と関わっていた。
- ・秋のおもちゃなどは、園の活動でも取り入れたいと思う内容であった。

○課題

- ・体育館から教室への移動に要した時間を、もっと活動時間に充てられるとよかった。
- ・一緒に活動すること以外に、小学生の授業風景なども見学できると、小学校生活のイメージがもてやすくなる。
- ・名前書き体験では、鉛筆の持ち方なども教えてもらえるとありがたかった。
- ・水筒などの持ち物は、園の実態に合わせて準備するようになりたい。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第8ブロック>

新座市立野寺小学校

片山幼稚園 第二保育園 栗原保育園

1 活動名

- (1) 野寺小ブロック幼・保・小連携推進協議会
- (2) 1年担任による保育園見学および情報交換会
- (3) 第1回幼保小交流会（児童発表とレクリエーション）
- (4) 第2回幼保小交流会（小学校体験）

※ 元気キッズ新座栗原園とは令和6年度以降の連携を図っていく。

2 活動内容

(1) 野寺小ブロック幼保小連携推進協議会

（日にち/令和5年6月30日実施、会場/野寺小学校 校長室）
片山幼稚園・第二保育園・栗原保育園・野寺小学校の4つの担当者が集まり、アプローチカリキュラムの各園の活動報告をしたり、通信（便り）の交換、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムの交換、本年度の取り組みの検討、夏休み中の保育園への見学の約束をしたりした。

(2) 1年担任による保育園見学および情報交換会

（日にち/令和5年8月1～3日実施、会場/各園）

・保育園見学

実際の保育を見学し、年長児の発達段階を確認し、2学期以降の指導に生かせるようにした。

・情報交換会

入学後の児童の様子を伝えるのと同時に、成長の変化を伝えた。

・スタートカリキュラムの振り返り

「幼児期が終わるまでに育てたい10の姿」をもとに、学校側で10の観点をもって、スタートカリキュラムの成果と課題を振り返った。各園での指導は十分に生かされたが、コロナ禍の影響により、人との

かかわり、運動面の技能、能力に、学校側で引き続き指導が必要とまとめた。

- ・1年生が作成した「がっこうのちず」を贈呈
生活科「がっこうだいすき」の学習を通して作った「がっこうのちず」を年長児に渡し、小学校への意識付けとして活用してもらうようにした。



(3) 第1回幼保小交流会

(日にち/令和5年11月28、29日実施、会場/野寺小学校 体育館)

小学校で行う直接的な交流会は4年ぶりとなる。1年生は音楽会で発表した歌声を披露した。園によっては、年長児の発表もあった。交流を意識して、レクリエーションで遊びながら仲良くなるように時間をとった。また、年長児が抱えている疑問に1年生が答える質問の時間もとった。交流会前後には、園により校内見学をした。



(4) 第2回幼保小交流会

(日にち/令和6年2月15、19日、会場/野寺小学校 1年教室)

2回目の交流は、園児が入学を見据えたころに日時を設定した。「下駄箱」「学習(文字)」「ランドセル」の体験プログラムを設定した。児童には、生活科「もうすぐ2ねんせい」から、児童を園児に教えてあげたいことを各クラスで話し合った。

3 成果と課題

(1) 成果について

- ・小学校への期待感を積み重ねるような手立てを組むことができた。
- ・スタートカリキュラムの振り返りをもつことで、新しいめあてを立てることができた。

(2) 課題について

- ・4年ぶりの交流会を開催で、小学校への期待が深まったか。
- ・「架け橋プログラム」を設定し、より綿密な接続を図る。
- ・元気キッズ新座栗原園が野寺小ブロックに入るため、新たな連携を考える。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第9ブロック>

新座市立池田小学校

新座市栄保育園 元気キッズ新座池田園

1 活動名

- (1) 未就学児の運動会への参加
- (2) 小学校で1年生との交流会
- (3) 園児と5年生との交流会（2月末予定）



2 活動内容

- (1) 運動会への参加

日時：10月28日（土）

場所：池田小学校

内容：運動会種目体験



- (2) 園児との交流会

日時：12月11日（月）

場所：各保育園、池田小学校

内容：うた

ダンス

じゃんけん列車

手紙交換



- (3) 園児と5年生の交流会（予定）

日時：2月21日（水）

場所：各保育園、池田小学校

内容：仲良くなろう 小さな友達

3・4・5歳児童とレクリエーションを楽しむ。



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・目的意識をもって活動に取り組めた。1年生としての自覚がより強くなる良い機会となった。
- ・どのようなレクリエーションがみんなで楽しくできるのか考え、実行することができた。
- ・昨年度の課題であった対面式を今年度は行えたのが何よりもよかった。
- ・1年生と園児をペアにすることでお兄さん・お姉さんの自覚を持つことができ、優しく園児に声をかける姿が見られた。
- ・時間を短めに設定したことで園児たちが最後まで飽きずに楽しんでいる様子が観られた。

△課題

- ・対面での交流が行えたので、学校案内や学校紹介動画など、より小学校がわかるような取り組みを入れても良かった。
- ・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムをそれぞれ見せ合い、連携に過不足がないか確認する時間が必要である。
- ・それぞれのカリキュラムを見ながら、教員・保育者がお互いに園児・児童の活動の様子を参観し、連携に必要なことを実際に確認したほうが良い。

(2) 保育園

○成果

- ・実際に校内に入れたことで小学校の雰囲気を知ることができた。
- ・小学生とペアを組んでもらったことで次の行動が分からなくなっても小学生に助けてもらう場面も身受けられた。
- ・ゲームや歌、ダンスなど園児が飽きないように組んであり、最後まで飽きることなく楽しむことができた。
- ・児童が作る手紙を貰ったことで小学生への憧れを抱くことができ、就学することへの期待も高まっている様子だった。
- ・オンラインではなく実際に交流することができ小学校への期待を持つことができた。
- ・園に戻ってからも子供たちから「小学校、楽しかった。」「はやく小学生になりたい。」など小学校へ肯定的な声があがっていた。

△課題

- ・時間が余ったため、交流会の出し物がもう1つあった方がよかった。
- ・1年生への教室見学を取り入れてほしい。
- ・模擬授業体験があるとよかった。
- ・質問コーナーがあるとよかった。

<第10ブロック>

新座市立新堀小学校

こぼとの森幼稚園・新堀保育園・光保育園

1 予定していた活動名

- (1) 第1回交流会 令和5年11月7日 ※感染症拡大防止の為中止
- (2) 第2回交流会 令和6年1月18日 こぼとの森幼稚園
19日 新堀保育園 光保育園

2 予定していた活動内容

- (1) 第1回交流会 ※感染症拡大防止の為中止
【内容】学校案内・ランドセル、給食着、体育着体験
(1年生の教室、日常の様子、学習内容)
- (2) 第2回交流会
【内容】おもちゃフェスティバル
(1年生が生活科の授業で作成したおもちゃで交流)

3 実際に行った活動

- (1) 第2回交流会 令和6年1月18日、1月19日
 - ・今年度は、2日間に分けて体育館で実施した。19日は新堀小学校の授業公開日と重なっていたため、1年生の保護者も参観した。
 - 【1日目・こぼとの森幼稚園】【2日目・光保育園、新堀保育園】
 - ・活動内容
おもちゃフェスティバル・・・生活科で取り組んで作ったおもちゃをお店形式で招待し、一緒に遊んだ。

4 交流の成果と課題

小学校

○成果

- ・手作りのおもちゃで遊んでもらう活動を通して、作る段階から、下の学齢の子を意識することができた。
- ・作ったおもちゃで「どんなふうに遊んでもらうか」を考えて、声をかけたり、一緒にしてみたりなどの密な交流ができた。
- ・生活科の学習と重ねて実施することができた。

○課題

- ・感染症拡大防止によって中止となり、第一回の教室体験をすることができなかった。(来年度以降、日程を10月後半に変更予定)
- ・本活動をどの単元で実施するかを、年間計画に盛り込むことが難しい。
- ・小学校の日課と各園による送迎等の都合を合わせる事が難しく、待ち時間が生じてしまった。

幼稚園・保育園

○成果

- ・一年生が考えて作ったおもちゃを子供たちも楽しみ、会話をしたり一年生に力を貸してもらったりなどの交流ができた。
- ・使用していたものが身近で集まるものだったのでより興味深そうにしており、「作ってみたい」という子もいた。
- ・小学校の体育館や廊下、教室、玄関を実際にみて幼稚園との違いや新しいものに興味を示していた。
- ・最初は緊張していたが、新堀小の小学生が優しく声をかけてくれたり遊び方をわかりやすく見せてくれたりすることで、緊張がほぐれていた。
- ・小学生の手作りおもちゃに触れ、「また学校に行きたい」「明日も行く?」「小学校は楽しい所だった」など保育園に帰ってからも話している園児もあり、学校生活への期待と憧れを持てた。
- ・最初は戸惑っている様子があったが、1年生から誘ってもらい、子供たちも興味のあるコーナーへ行くことができ、楽しめていた。
- ・小学校が楽しい所だと感じられた様子だった。

○課題

- ・教室の中に興味を示しており、小学校にはどんな部屋があるかなど体育館以外の場所を見学したり、案内してもらったりする時間があるとより進級を意識することができる。
- ・1年生と年長の関わりを深めるためには子供によっては保育者の仲立ちが必要であるとわかった。園内でも様々な人と関わる機会を設けていく。
- ・当日欠席した園児も含めて、小学校生活に向けて足りないところを補い、新しい環境にスムーズに移行できるように残りの園生活を過ごしていく。
- ・通常の授業の様子や学校内見学等が出来ると良い。
- ・色々なものを小学校側が用意することになっており、それが負担となってしまうのではないか。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第11ブロック>

新座市立東野小学校

わかのび幼稚園 第一保育園 すぎのこ保育園 まなびぐら新座保育園

1 活動名

- (1) 1年生の体験をしよう
- (2) 1年生と一緒に遊ぼう

2 活動内容

(2) 1年生の体験をしよう

- ・交流日時：令和5年11月20日（月）10：40～11：25
令和5年11月24日（金）10：25～11：10
- ・交流場所：東野小学校 1年生各教室、学校内
- ・交流内容：①体験…ランドセルを背負う、プリントを使った運筆、色塗り
②探検…1年生の教室から職員室まで一緒に歩く。
③発表…1年生からの東野小についての紹介を聴く。



(2) 1年生と一緒に遊ぼう

- ・交流日時：令和6年1月19日（金）10：25～11：10
令和6年1月23日（火）10：40～11：25
- ・交流場所：東野小学校 体育館
- ・交流内容：1年生が用意したお店で遊ぶ。（けん玉、魚釣り、的あてなど）



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・年長児への接し方を考える中で、子供たちの上級生としての自覚を高めさせることができた。
- ・年長児たちが4月から小学生として入学してくることに、子供たちは期待をもつことができた。
- ・企画、準備、実施の流れを子供たちが意欲的に取り組むことができた。
- ・交流会を2回実施することができてよかった。

○課題

- ・園数が増えると日程調整が難しくなると思うが、同時に集まることができれば、幼稚園・保育園間の交流にもつなげられると思った。
- ・2回目の交流会で、幼稚園生・保育園生とペアを組んでお店をまわっていく活動にしてもよかった。
- ・1年生が作ったプレゼントやスタンプラリーのカードを落としてしまう園児もいたので、特にスタンプカードについては、事前に渡しておいてもよかった。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・子供たちの学校に対するイメージが湧きやすくなり、小学校への期待を高めることができた。
- ・教室やトイレなどを見ることができたことで不安から安心に変わったり、1年生の対応や座って話を聞く姿勢などを目の当たりにしたことで、子供たちの1年生になるという自覚につながったりした。
- ・保護者からは、1年生と実際に関わったことで、1年生の様子や学校の取組を知ることができてよかったとの声もあった。

○課題

- ・1回目の交流会で、図書室や音楽室などの教室も見学・入室ができたらよかった。
- ・1回目の交流会で1年生にひらがなで名前を書いてもらったが、間違っている子もいたので、1年生の活動には個人差があると感じた。
- ・2回目の交流会では自由参加型で子供たちは好きなところに行けて喜んでしたが、案として、1年生と一緒に遊べる活動(集団)などもあってもよいと感じた。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第12ブロック>

新座市立栄小学校

妙音沢もみじ保育園、竹の子保育園

1 活動名

保育園・小学校の交流会

2 活動内容

(1) 日時 令和5年11月16日(木) 9:40~11:00

(2) 内容 ○小グループでの学校探検

1年教室、校長室、図書室、保健室、図工室をペアになって案内したり説明したりする。

○1年生体験

「席にすわる」「ランドセルを背負う」「線をなぞる」を1年生に教えてもらいながら園児が体験する。

○ゲーム

人数あつめゲーム



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・1年生の児童が、保育園児に小学校のことを教えたり、会の進行をしたりして、自分が上級生になった気持ちになり、頼もしい姿がみられた。
- ・1年生なりに、どのように言えば言いたいことが伝わるか、入学を楽しみに思ってもらうにはどうしたらよいかを考えるなど、交流の仕方を学ぶ良い機会になった。「わかる?」「大丈夫?」と問いかけながら活動していて寄り添っている姿がみられた。

○課題

- ・感染症等が心配される中で、交流会は1回の実施となった。できれば、交流の機会を増やしていきたい。

(2) 保育園

○成果

- ・小学校の見学、席についての線なぞり等を体験し就学に対する意識づけ、興味を持つことができた。
- ・保育園とは違う小学校での勉強のことや持ち物についてを知り、学校に行きたい意欲や期待が高まった。
- ・一年生の様子を見て、「話をしっかりと聞く」姿勢が身についた。

○課題

- ・小学校の見学、一年生の体験を続けて行えれば就学への期待を持つことができると思う。
- ・今年度は、11月で、良い時期に実施できた。季節の感染症等の心配がなかったため良かった。

〈第13ブロック〉

新座市立石神小学校

アヤ保育園 まきば保育園 まこと保育園 光第二保育園

1 活動名

「なかよし交流会」をしよう。

2 活動内容

(1) はじめの会

- はじめのことば
- 校長先生のお話
- 小学校 校歌披露
- グループの顔合わせ



(2) ランドセル体験

- ランドセルをしょって
図書室内を見学
- 特別教室を廊下から見学

(3) タブレット体験

- 生活科見学(動物公園)で
見た動物の紹介
- ぬり絵

(4) プリント体験

- えんぴつ書きの練習



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○ 成果

- ・ 子供たちはとても楽しみにしていた。
- ・ 小学校では1番下の学年で、面倒をみてもらうことが多かったの
で、自分たちが面倒をみてあげることを楽しみにしていた。
- ・ 2年生になって、1年生を迎える自覚を持たせることができた。
- ・ 小学校での子供たちの実態をみて頂くことができた。

○ 課題

- ・ どのような会にするか、教師同士で少し話ができるとうよかった。
- ・ 幼稚園や保育園では、子供たちがどの程度のことできてどのよ
うにやっているのか、小学校の教員も知る機会があるとよいと思っ
た。

(2) 保育園

○ 成果

- ・ 実際に小学校に行って、目で見ても身体で触れたり雰囲気を感じた
りして、具体的に小学校のイメージがもててよかった。
- ・ 教室でタブレットやプリントを使用して、小学校ではどのような
授業をするか実感することができ、以前より入学するのが楽しみと
いう声が増えた。

○ 課題

- ・ 慣れない場の雰囲気に戸惑う子供もいたので、事前にもっと細か
な動きや流れを話して心の準備をさせたかった。
- ・ 1年生が教えてくれる内容が、うまく伝わらない様子も見られた。
- ・ 園児は受け身な状況が多かったため、最後のお礼に歌のプレゼン
トなどがあってもよいと思った。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第14ブロック>

新座市立新開小学校

第一新座幼稚園 大和田しらかば幼稚園 北野保育園

1 活動名

(1) 幼保小交流会

2 活動内容

(1) 幼保小交流会

○日時 11月20日（北野保育園・大和田しらかば幼稚園）

11月30日（第一新座幼稚園）

○内容

・ランドセル体験

ランドセルを身に着け、廊下を歩く。

・クイズ

学校に関するクイズをする。

・鉛筆体験

鉛筆の持ち方・書くときの姿勢の動画を見る。

運筆のプリントを使い、書く練習をする。

・プレゼント

折り紙でメダルを作りプレゼントする。



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・1人1役やることで、自分に自信を持つことができた。
- ・園児に教えるという体験を通し、上級生としての自覚が芽生えた。
- ・折り紙で折ったメダルの裏に学校行事の絵を書くことで、今までを振り返り来年度への期待を高めた。
- ・昨年の教えられる立場から、教える立場になったことで1年を振り返ることができた。

○課題

- ・教科書の進度とは、異なっていたため単元の取り組みが難しかった。
- ・校内探検などを取り入れたらよかった。
- ・時間が短かった。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・初めての学校という場所に行く子供もいて、ドキドキしたようだが、楽しかったと話す園児が多くいた。
- ・校内を歩いたり、ランドセルを背負ったり、鉛筆の持ち方などが経験できてよかった。
- ・メダルのプレゼントが嬉しかった。
- ・小学校への期待が高まった。
- ・グループ活動があり、子供同士の関わりが多くみられた。
- ・小学生が積極的に関わろうとする姿があり嬉しく思った。
- ・卒園生に会うことで1年生を身近に感じ、小学校への親近感が増した。

○課題

- ・学校探検として、校庭・トイレ・保健室などが見学できるとよい。
- ・ブロックごとだけでなく、園から近い学校との交流もできるとよい。
- ・写真撮影の際に、同じ日に来ていた別の園も写真撮影をしていた。個人情報の流出に気を付けてほしい。(小学校は写真掲載について確認済みだが、別の園からの確認はなかった。)
- ・クラスで差があったため、進め方をそろえてほしい。
- ・年に1回でなく、継続的に何かできるとよい。
- ・園児だけでなく、保護者が今の学校を知る機会が欲しい。(授業見学など)

4 今後、行っていきたい交流

- ・小グループを通じた遊びの交流
- ・年長保護者の小学校見学
- ・園児と児童の相互訪問
- ・教員間での意見交換会



令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第15ブロック>

新座市立栗原小学校

明彩幼稚園 けやきの森保育園栗原園 けやきの森保育園栗原第二

はなにこマロン保育園

1 活動名

(1) 園児の農園活動見学 (2) 幼保小交流会 (3) 情報交換会

2 活動内容

(1) 園児の農園活動見学

・日時 令和5年7月12日(水)

9時30分～10時

けやきの森保育園栗原第二の園児が栗原小学校農園での1年生の活動の様子を見学した。



(2) 幼保小交流会

・日時 令和5年11月7日(火) 9時30分～10時30分

けやきの森保育園栗原園(14名)

けやきの森保育園栗原第二(13名)

はなにこマロン保育園(3名)

令和5年11月8日(水) 10時30分～11時30分

明彩幼稚園(45名)

・場所 栗原小学校

・内容 1年生と園児がペアになって、下記の交流を行った。

①教室での交流(◎は必ず行った活動内容)

◎ランドセル体験

・1年生のランドセルを園児が背負い、ランドセルの重さを体験した。

◎名前書き

・園児が用紙に自分の名前を書き、1年生はそれを補助した。

○1年生が考えた内容の交流

・お道具箱の紹介、読み聞かせ、折り紙、ぬり絵など、ペアごとに1年生がリードして行った。

②校舎案内

◎食器体験

・給食食器セットを持ち、大きさや質感を体験した。

◎図書室

・入学後、慣れ親しんでほしい場所の広さ、蔵書の多さを見て、園との違いを感じてもらった。

○1年生が考えた施設案内

- ・紹介したい場所や生き物を、時間を有効に使いながら案内した。図工室では、版画を行っていた5年生の様子を知ることができた。

③はじめの会・終わりの会

一緒に歌ったり、感想を発表し合ったり、先生方からのお話を聞いたりした。



「5年生の版画を見せてもらったよ」



「たくさん泳いでいるね」



「いろんな本があるなあ」



「持ち方じゃあね」



読み聞かせ、ランドセル体験・・・



「こうやって書くんだよ」

(3) 情報交換会

2月下旬～3月上旬に、小学校教員が幼稚園・保育園に伺い、情報交換と引き継ぎを行う。

3 交流の成果と課題

○成果

- ・1年生の児童は、事前の準備や当日の交流、事後の振り返り活動を通して園児を思いやる気持ちや上級生としての意識が高まった。
- ・園児は、1年生からいろいろなことを教えてもらったり、体験させてもらったりしたことで、小学校へ入学することへの安心感や期待につなげることができた。
- ・幼稚園、保育園の先生方に、卒園後の成長した姿をたくさん見ていただくことができた。
- ・異年齢の子供同士の間関係が深まった。
- ・職員間で連絡をとることにより、異校種の職員の交流にもつながった。

○課題

- ・年間を通して、交流できる機会や時間が増えるとよい。
- ・小学校の全職員が、幼稚園・保育園を訪問し、園児の活動の様子を参観する機会が復活するとよい。

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第16ブロック>

新座市立陣屋小学校

白梅保育園 白梅第二保育園 キッド・ステイ新座保育園

1 活動名

(1) 幼保小交流会

2 活動内容

(1) 幼保小交流会

○日時 1月15日(月)

場所 陣屋小学校 体育館、各1年生教室、学校全体

○内容

三園の年長児童と陣屋小学校1年生が交流会を行った。はじめの会では、小学生から歓迎の言葉を贈った。その後、園児がランドセルを背負い、校帽をかぶりながら校内見学をしたり、なぞり書きの授業体験をしたりと、小学校のことをより知ることが出来る活動を行った。

最後に体育館で、終わりの会を行い、それぞれの学級、園の代表者が感想を発表した。



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

教室での授業体験は、記名や運筆の仕方など丁寧に見てほめている姿が多く見られた。校内案内では、園児とペアで行動しながら特別教室等を詳しく説明していた。園児との関わりで、上級生としての自覚が高まり、責任感も感じられた。

○課題

インフルエンザによる学級閉鎖が重なり、交流会の実施を2学期から3学期へと変更する必要が生じてしまった。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・校内見学でさまざまな教室を知ることができたことや、授業を体験させてもらったことで、小学校への期待と関心が高まった。
- ・「小学校は勉強するところ」と頭でわかっている子どもたちが実体験で感じることができた。

○課題

- ・校内見学の際、子ども主体だったのは良いが、子どもたちがバラバラになることで保育士が足りなくなってしまう、個人個人の様子を観察することが難しかった。
- ・交流会の時期が、12月中旬（3週目）ごろ、もしくは11月頭頃だと助かる。（卒園アルバムの作成や行事練習のため）

令和5年度 新座市幼保小連携推進事業報告

第17ブロック 新座市立新座小学校

第二新座幼稚園 新座保育園 山びこ保育園

1 活動名

なかよし交流会「出し物発表」「レク」「あきまつり」

2 活動内容

「出し物発表」「レク」「あきまつり」

- ① 実施日 令和5年11月15日（水） 新座小学校体育館
第1部：山びこ保育園（20名）新座保育園（21人）
第2部：第二新座幼稚園（43名）

② 交流内容

○出し物発表

- ・歌などの発表をし、それぞれ見合った。新座小学校は、学校の校歌を紹介した。各園は、歌などを一生懸命発表していた。



○レク～じゃんけん列車～

- ・1年生が、やり方を説明した後に、「じゃんけん列車」をして交流した。1年生と園児がペアを組んで交流できるように促した。簡単なレクだったので、園児も1年生も楽しんで活動していた。



○秋まつり

新座小学校の1年生が、秋をテーマにしたかるたや、どんぐりやまつぼっくりを使ったおもちゃを作成し、グループごとのブースに幼稚園・保育園生を招いて遊びを紹介し、一緒に遊んだ。まつぼっくりのけん玉やどんぐりコマ、的入れ、アクセサリー、魚釣り、やじろべえ、秋かるたの場を設定した。



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・園児が楽しく活動できるように、優しく声をかけたり、教えてあげたりする姿が見られ、新2年生としての自覚が少しずつもつことができた。
- ・相手が喜んでくれるためには、どうしたらよいかを考えて、準備・交流会に臨むことができた。

○課題

- ・体育館だけでの交流だったので、普段の様子を見てもらうためにも、教室を案内する内容も含めることでよりよい交流になる。または、別日に、小学校の見学会を設けることも可能である。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・幼稚園・保育園と小学校の違い（体育館や校庭の広さなど）を感じ、小学校のイメージがもてた。
- ・小学校へ行くワクワク感や安心感があり、よい意欲づけとなった。

○課題

- ・交流だけではなく、学習をしている様子を見るなど、学校生活の見学もあるとよい。
- ・「教室で、字を書いてみる」「ランドセルを背負ってみる」など、学校体験もできると、1年生になる見通しがよりもちやすかった。



アマビエ ゾウキリン

AMABIE ZOUKIRIN

令和5年度新座市幼保小連携推進事業 交流実践事例集

令和6年3月発行

新座市教育委員会

〒352-8623

新座市野火止1-1-1

TEL : 048-477-7142

FAX : 048-482-0137

E-mail : kyo-shien@city.niiza.lg.jp